

動物実験講習会の受講

動物実験講習会を受講する目的

動物実験を適切かつ安全に実施する

ホームページによる案内

動物実験講習会要項

動物実験講習会を開催します。受講を希望される方はお申し込みください。

日時：随時（講義 2 時間、実技 2 時間の予定）

会場：追ってご案内いたします。

対象：新規に動物実験（飼育管理を含む）を始める教職員、研究生、
研究員、研究補助員等

＊病態モデル先端医学研究センターを利用しなくても、本学で動物実験を行う方は対象となります。

【注意】 医学研究科大学院生、医療科学研究科大学院生および
保健学研究科大学院生には、別にセミナーあるいは講義を
用意しております。詳細は、学務課にてご確認ください。



申込：[こちら（Google フォーム）](#)からお申込みください。

<https://info2.fujita-hu.ac.jp/camhd/post-17.html>

メールによる通知

差出人: camhd-2@fujita-hu.ac.jp
件名: [f-info2:08213] 「動物実験講習会」開催のお知らせ
日付: 2026年 4月 6日（月）13:25
宛先: f-info2@ml.fujita-hu.ac.jp

2026年4月3日

教職員各位

研究推進本部

病態モデル先端医学研究センター
センター長代行 永井 拓

「動物実験講習会」開催のお知らせ

下記の日程で動物実験講習会を開催します。受講を希望される方はお申し込みください。

日時：2026年 4月 23日（木）13：30～（講義2時間、実技2時間の予定）

会場：追ってご案内いたします。

対象：新規に動物実験（飼育管理を含む）を始める教職員、
研究生、研究員、研究補助員等

*病態モデル先端医学研究センターを利用しなくても、本学で動物実験を行う方は対象となります。

【注意】 医学研究科大学院生、医療科学研究科大学院生および
保健学研究科大学院生には、別にセミナーあるいは講義を
用意しております。

詳細は、学務課にてご確認ください。

受講希望者は下記Googleフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/P8XxqJvQFqT71KpJ9>

【申込締切】準備の都合上 4月15日（水）

問い合わせ先：

研究推進本部 病態モデル先端医学研究センター 管理室（担当：亀井）

E-mail： camhd-2@fujita-hu.ac.jp

内線：9398

医学研究科大学院生への案内

疾患モデル科学

1. 教育目標

昨今のめざましい医療技術の進歩には、医療関係者や研究者の絶え間ない努力と共に、前臨床研究やトランスレーショナル研究に代表される動物実験が直接・間接的に寄与していることは言うまでもない。最近、国際的情勢に鑑み、「動物の愛護及び管理に関する法律(令和元年改正)」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準(環境省平成25年改正)」、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(文部科学省)」や「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」が整備されてきた。本学においても法律等を遵守し動物実験が適切に行われるように、学長の責任のもと、藤田医科大学動物実験規程が施行されている。そこで、本講座は動物実験を実施する大学院医学研究科の大学院生として必要なことを学び、基本的な手技を習得することを目標とする。

2. 担当者

永井 拓	教授	吉村 文	准教授	白水 貴大	助教
長尾 静子	教授	服部 聡子	准教授	張 心健	助教
		釘田 雅則	講師		

3. 講義開催日

種別	No.	開催日と開催場所		時間
選択式セミナー	1	6 月 3 日 (水)	大学 1 号館5階502号室	13:30
	2	6 月 9 日 (火)	大学 1 号館B1階会議室	
	3	6 月 12 日 (金)	大学 1 号館B1階会議室	
	4	6 月 16 日 (火)	大学 1 号館 B3階実習室	16:30
	5	6 月 18 日 (木)		
	6	6 月 23 日 (火)		
	7	6 月 25 日 (木)		

4. 評価方法

学生便覧巻末綴じ込み「疾患モデル科学セミナー出席確認票」にて、受講時に担当教員の認定印が必要。出席を原則とするが、レポート提出も行う。

5. 講義内容 (第1回:5月開始・第2回:6月開始共通)

No.	講義テーマ	到達目標
1	動物実験等および実験動物の取扱いに関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項	動物実験と実験動物の概念を説明できる。 実験動物の取扱いに関する基礎知識を得る。 科学的信頼が高い動物実験を行うために必要な実験動物の飼養保管に関する基礎知識を得る。
2	動物愛護管理法等の関連法令、条例、指針等および規程等に関する事項	関連法令等を理解し遵守する心を養う。
3	安全確保に関する事項、動物実験計画の立案の仕方、施設等の利用に関する事項、最近のトピックス	危険因子の把握と適切な取り扱い方法を学ぶ。緊急時の対応を学ぶ。生活環境の保全方法を学ぶ。動物実験計画の立案ができる。施設等の利用方法を学ぶ。実験動物あるいは動物実験の最近のトピックスに関心を持つ。
4	実験動物の取扱い	実験動物の取扱いを習得する。 ハンドリング、投与(経口、腹腔内、皮下、尾静脈)
5	実験動物の取扱い	実験動物の取扱いを習得する。 吸入麻酔、CT 撮影(頭部、胸部、腹部、造影)、in vivo 発光・蛍光イメージングシステム Lago X 撮影
6	実験動物の取扱い	実験動物の取扱いを習得する。 臨床生化学検査(血糖値測定、採尿方法)、臨床生理学検査(血圧測定)、擬似皮膚を用いた縫合練習、繁殖生理(腫瘍標本、インピーダンス)
7	実験動物の取扱い	実験動物の取扱いを習得する。 臓器観察 ドリームボックス装置使用方法

6. 履修上の注意点

- ※動物実験を行う可能性がある方や関心のある方は、是非本講義を受講ください。
- ※動物実験を行う場合、No.1～No.3の講義とNo.4の実習を必須とします。(必要に応じて補講を行いますので、相談ください。ただし、補講の場合ポイントは加算されません)。
- ※No.5～No.7は実践に役立つ手技の習得を目的としています。
- ※第1回(5、6月)・第2回(6、7月)合わせて受講可能です。ただし内容(講義テーマNo.1～No.3)の重複は不可です。手技(No.4～No.7)の習得のための重複については、ご相談ください。

留学生への案内

Animal Models for Human Diseases

1. Course Aims

Disease model animals for human are indispensable for basic research in the medical field. Therefore the main aims of this course are follows:

- (1) Proper breeding and management of animal models for human diseases.
- (2) Laws and regulations related to animal experiments and ethics of animal experiments.
- (3) Points necessary for designing an appropriate animal experiment.
- (4) Proper handling of experimental animals and appropriate procedures for animal experiments.

Through these, students learn the appropriate research methods using diseases animal that can contribute to the development of medical care.

2. Instructor

Shizuko NAGAO, Ph.D., Taku NAGAI, Ph.D., Aya YOSHIMURA, Ph.D., Satoko Hattori, Ph.D., Masanori KUGITA, Ph.D., Takahiro, SHIROUZU, Ph.D., Xinjian, ZHANG, Ph.D.

3. Date of Seminar

	No.	English	Seminar room	Starting time
Elective seminar	1	June 2 (Tue)	University Building No. 11 1st floor	13:30
	2	June 8 (Mon)		
	3	June 15 (Mon)		
	4	June 16 (Tue)	University Building No. 1 3rd basement floor	16:30
	5	June 18 (Thu)		
	6	June 23 (Tue)		
	7	June 25 (Thu)		

4. Grading Policies

Class attendance and attitude in class:50% and short reports:50%.

5. Course Schedule and Objectives

No.	Course Schedule (topic for each time) and Objectives
1*	Lecture- Animal experiments, and handling of laboratory animals. Breeding and storage of laboratory animals
2*	Lecture- Law for the Humane Treatment and Management of Animals, related laws, ordinances, guidelines. Regulations for the Management of Laboratory Animals in Fujita Health University and guidelines
3*	Lecture- How to get your safety in animal experiment How to animal experimental plan How to use the facility Topics about animal experiments
Objectives: No.1-3 The goals of this course are to - be able to learn and explain the basics of proper breeding, breeding and management methods. - be able to understand and explain relevant laws and ethics of animal experiments. - be able to learn how to formulate an animal experiment plan and state logically.	
4*	Practice- Handling of laboratory animals, Administration (oral, intraperitoneal, subcutaneous, intravenous) to laboratory animals
5&	Practice- How to animal experiments; Inhalation anesthesia, CT imaging (head, chest, abdomen, contrast agent), In vivo luminescence/fluorescence imaging system Lago X
6&	Practice- How to animal experiments; Clinical biochemical test (blood glucose level, urine collecting method), Clinical physiology test (blood pressure measurement), Practice suture using pseudo skin, and Reproductive physiology (vaginal smear specimen, impedance)
7&	Practice- How to animal experiments; Draw blood and organ observation and Euthanasia by carbon dioxide
Objectives: No.4-7 The goals of this course are to - be able to learn and practice experimental animal handling and animal experimentation techniques.	

*: Required, &: option

6. Notice for Students

Students should keep positive attitude.

If students wish to conduct an animal experiment when creating the master's thesis, you must attend the course.

指定動物実験講習会及び個別動物講習会の開催

2025年度 動物実験講習会（新規利用者）

実施月日	受講者数
4月17日	11
4月21日	2
6月18日	1
7月3日	1
7月23日	9
8月5日	3
8月8日	4
8月29日	1
9月2日	1
10月3日	3
10月9日	2
11月11日	1
11月27日	2
1月6日	1
1月21日	1
合計	43

昨年度は15回開催され、43名が受講

（病態モデル先端医学研究センターホームページより抜粋）

学部学生に対する動物講習会の開催

医学部学生講習会

実施月日	総受講者数
9月19日	8
12月25日	18
2月6日	1

医療科学部学生講習会

実施月日	総受講者数
11月19日	2

スチューデントリサーチャープログラム

実施月日	総受講者数
4月10日	1
5月13日	2
6月12日	3
7月22日	6
8月18日	1
10月22日	2
11月25日	1
2月26日	3
合計	19

2025年度卒論前講習会

(医療科学部 臨床検査学科、放射線学科、臨床工学科 保健衛生学部 リハビリテーション学科)

実施月日	受講者数
3月27日・3月28日	43
10月4日	4
合計	47

動物講習会（更新）の開催

**動物実験計画書更新時（原則3年に一度）
更新用の動物実験講習会を受講必須**

**更新用の動物実験講習会を受講しないと、
動物実験計画書を更新できない。**

大学院生については研究科ごとにセミナー対応

医学研究科

医学研究科留学生対応

医療科学研究科

保健学研究科

各研究科あるいは病態モデル先端医学研究センターに
問い合わせてください。